

施設公開『自由観覧』

5月26日(日) 10:00~16:00

参加費無料 (申込不要)

会場：京都大学阿武山観測所



『一般見学会』や『団体見学会』で公開している施設はもとより、普段は一般には非公開の『西館1階』などの施設も一挙公開し、阿武山ボランティア『阿武山サポーター会員』による解説を活用しながら館内の『自由観覧』(10:00~16:00)ができます。また、阿武山ボランティア・サイエンスコミュニケーターによる、阿武山観測所に関する『小講演』(各30分)も行われます。

- 1930(昭和5)年開設された京都大学の研究施設(地震観測所)
80年間以上にわたり、世界の地震観測をリードしてきた歴代地震計から最新の満点地震計、高温高压実験装置や歴史的な工作機械など、観測所が保存する歴代機器を一挙公開します。
また、開設当時よりモダンを極めた建物は、文化財的価値をもつ歴史的建造物としても注目されています。
- 小講演(阿武山サポーター)各30分：申込不要
 1. 『観測機器を作っていた！～阿武山地震研究を支えた計器製作～』
 2. 初代所長『志田順』

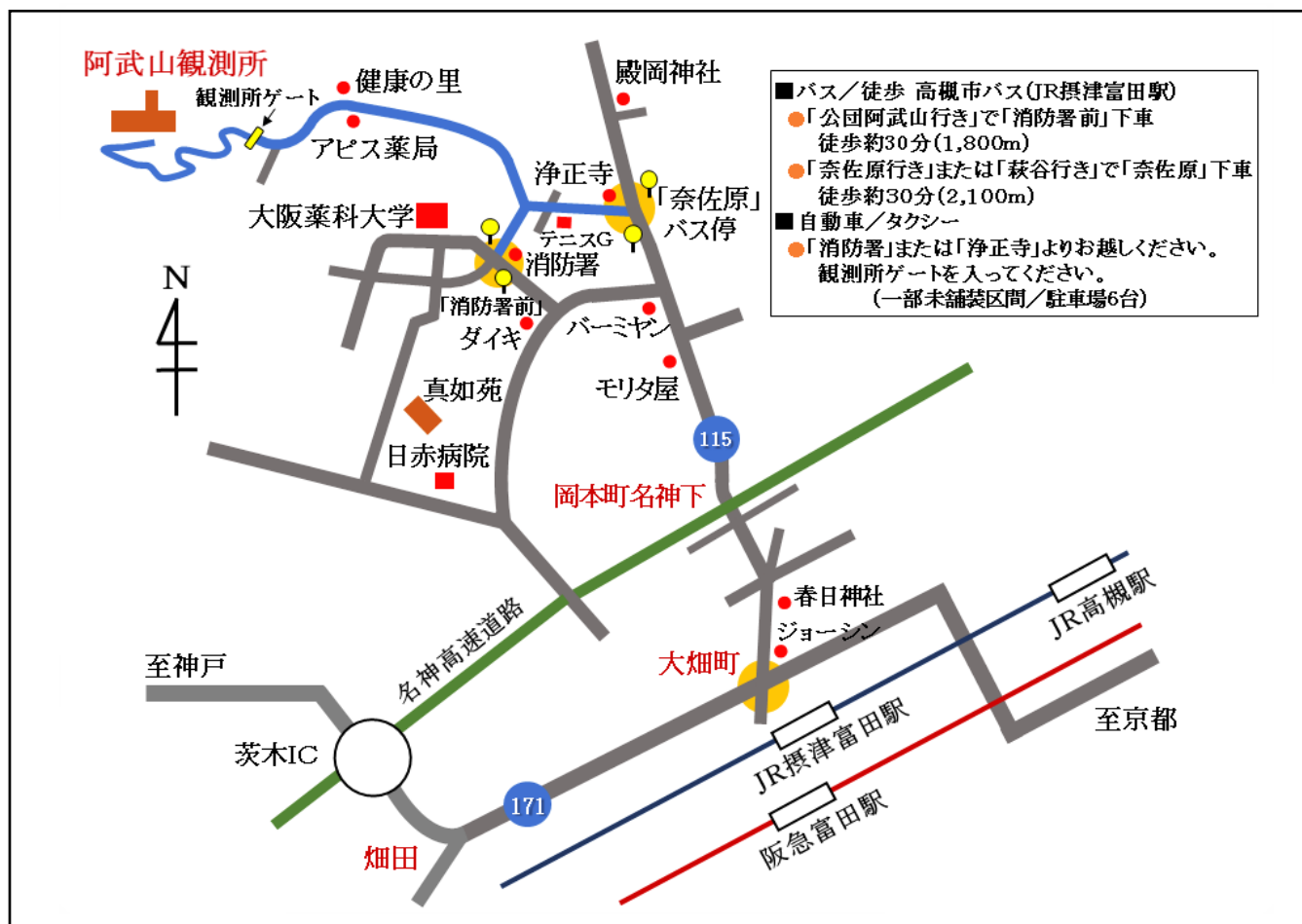


Program

施設公開	5月26日(日) / 自由観覧エリア	※申込不要
10:00～ ～16:00	阿武山ボランティア・サイエンスコミュニケーター 解説 <ul style="list-style-type: none"> ・本館地階『歴代地震計』 / 『測地機器』 / 『フーコー振子』 ・本館3階『阿武山倶楽部』 ・本館屋上『屋上展望』 ・西館1階『満点地震計』 / 『海底地震計』 / 『高温高压実験装置』 『歴史的な工作機械』 ・西館2階『小講演』 / 『アースダイバー』 / 『展示模型』 / 『岩石標本』 	

小講演	5月26日(日) / 西館2階セミナー室	※申込不要
10:30～ ～11:00	『観測機器を作っていた！～阿武山地震研究を支えた計器製作～』 阿武山観測所 浜口 正良 サポーター会員 地震計の製作から修理・部品製作などを行った舶来フライス盤など、歴史的な工作機械について。	
14:00～ ～14:30	『初代所長・志田順』 阿武山観測所 溝口 宏一 サイエンスコミュニケーター 地球潮汐による地球の変形を解明や深発地震の発見など、明治から昭和初期にかけて活躍、地球物理学・地震学の夜明けを築くなど、その業績を振り返ります。	

※観測所に食堂・売店はありません。



所在地：〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原944
 京都大学防災研究所 阿武山観測所
 問合せメール：info@abuyama.com